

# 浸水被害を軽減するソフト対策

～鬼怒川での水害を踏まえた対策の強化～

## 1 県民や市町村への情報の提供・共有

- ① 浸水危険度の周知
- ② 河川堤防の共同点検
- ③ 雨量・水位等リアルタイム情報の充実

## 2 市町村の業務の支援

- ① 避難のためのタイムラインの整備
- ② 水害対応チェックリストの作成
- ③ 県と市町村の連絡会議

## 1 県民や市町村への情報の提供・共有

### ① 浸水危険度の周知

■ 既存の浸水想定区域図や市町村のハザードマップへのリンクを県のホームページのトップに掲載（9/14～実施し、現在は掲載終了）

○ 水防法改正に伴い浸水想定区域図を見直し（平成27年度～概ね5年で完了予定）

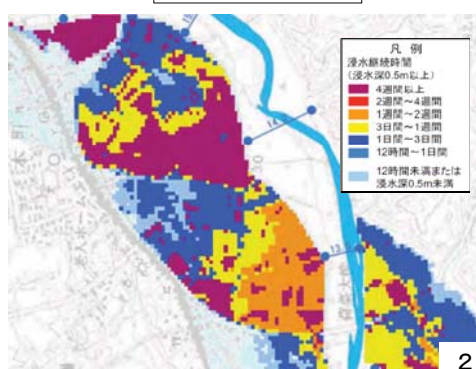
< 主な見直し内容 >

- ・ 対象降雨：河川整備の目標降雨(1/30～1/150) ⇒ 想定最大規模の降雨(概ね1/1,000)
- ・ 家屋倒壊危険ゾーン、浸水継続時間：今回の見直しで新たに示す

浸水深及び家屋倒壊危険ゾーン(表示例)



浸水継続時間(表示例)



## 1 県民や市町村への情報の提供・共有

### ② 河川堤防の共同点検

○相模川、酒匂川、鶴見川を対象に、沿川の市町、消防団、住民と、洪水に対しリスクが高い区間(重要水防区域等)について、河川堤防の共同点検を実施し、情報共有を図る。(平成27年度から順次実施)

平成27年度の状況

- ・相模川(海老名市、寒川町) 12月18日実施
- ・酒匂川(小田原市、南足柄市、開成町) 11月26日実施
- ・鶴見川(横浜市緑区、港北区、都筑区) 11月27日実施



主な説明内容

- ・重要水防区域の趣旨
- ・河川に設定されている避難判断水位等の趣旨
- ・点検箇所 の状況
- ・点検箇所が破堤した場合の浸水範囲
- ・県のホームページで公表している、雨量水位情報や浸水想定区域図の周知

共同点検の実施状況(11/26 酒匂川)

3

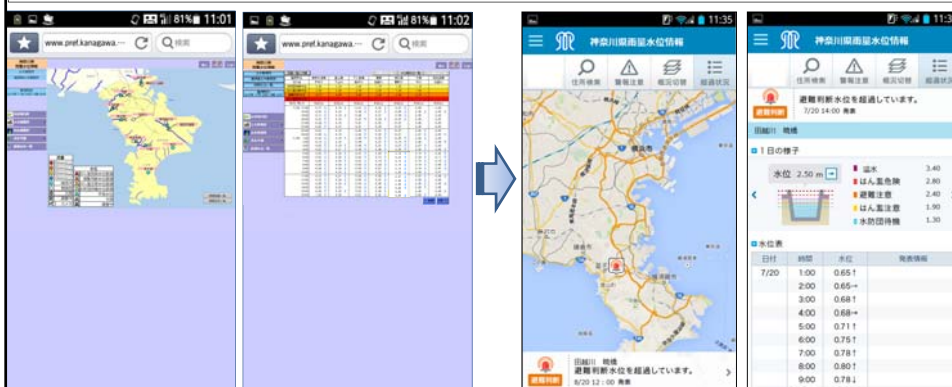
## 1 県民や市町村への情報の提供・共有

### ③ 雨量・水位等リアルタイム情報の充実

○水位観測所や河川監視カメラの増設を進める。(継続して実施)

○スマートフォン専用サイトを開設し、見やすさと操作性を向上させる。

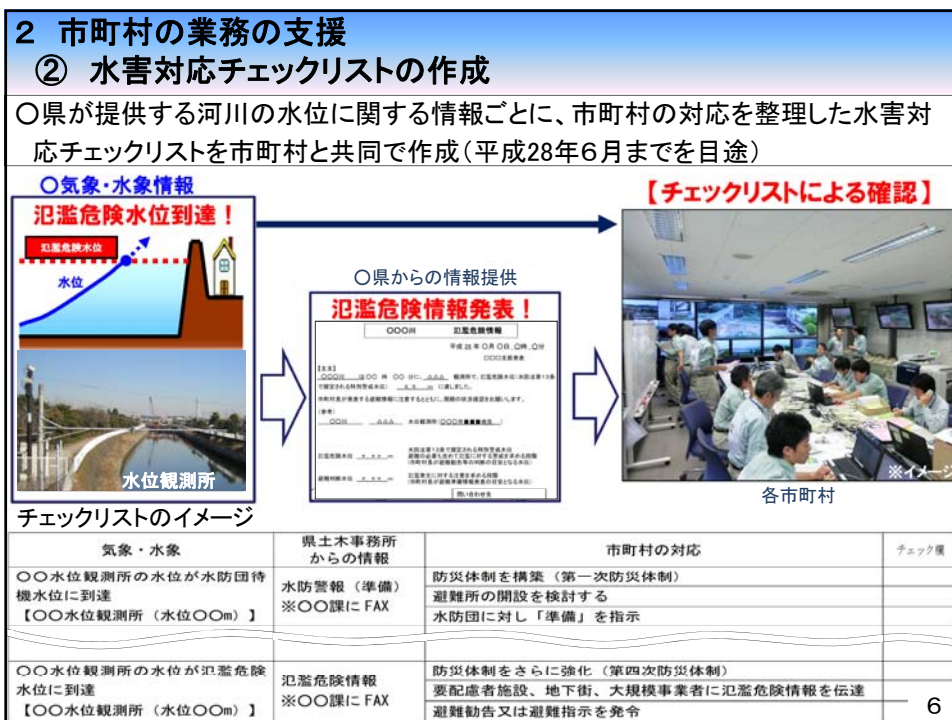
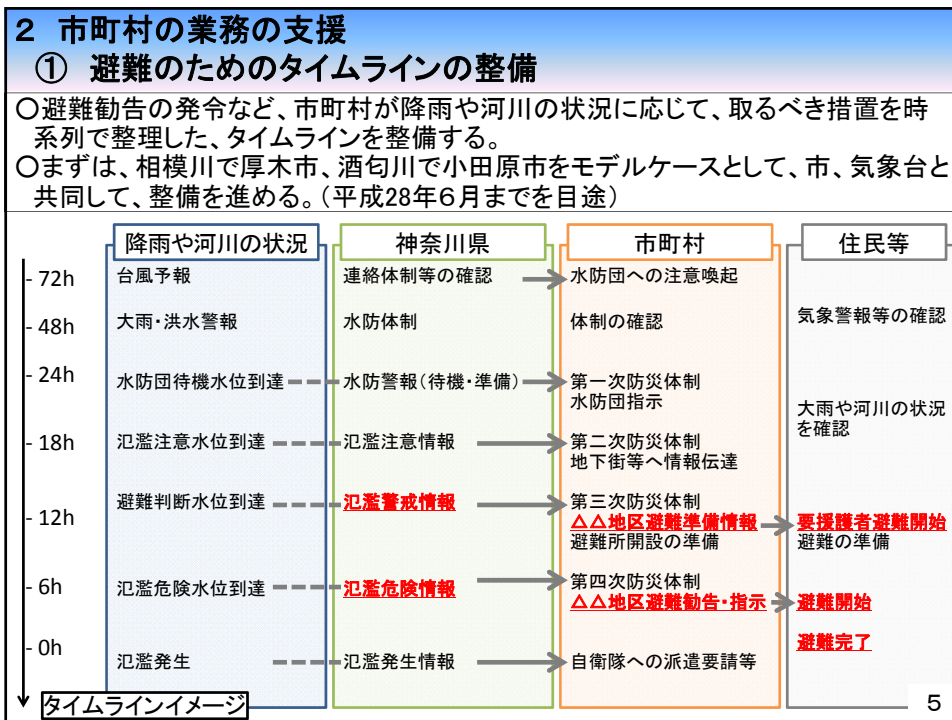
(平成28年度内に実施)



PC用サイトを共有

スマートフォン専用サイト

4



## 2 市町村の業務の支援

### ③ 県と市町村の連絡会議

■安全防災局と共催で、「浸水被害対策県市町村連絡調整会議」を9月25日に開催

- ・国(国土交通省、気象台)の協力を得て、鬼怒川の水害等の情報を共有
- ・防災情報の利活用や、避難勧告の発令基準等について確認

○全ての市町村の防災担当の幹部職員を対象に、各種防災情報、タイムライン、チェックリストに関する説明会を、安全防災局と共催予定(平成28年6月までを目途)



「浸水被害対策県市町村連絡調整会議」  
開催状況(H27.9.25)

#### 防災気象情報の効果的な活用(大雨の場合)

特別警報を待つことなく、早めの対応を!



- 「特別警報が発表されない」は「災害が発生しない」ではありません。特別警報では、既に災害が発生している可能性があります。
- 警報・注意報、その他の気象情報を活用し、早めの行動をとることが大切です。

気象台説明資料の例

7

## 今後のスケジュール

項目	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成31年度	
	6月	11月	6月	11月	6月	11月	6月	11月
1 県民や市町村への情報の提供・共有								
①浸水危険度の周知 (浸水想定区域図の見直し)			大河川					
			その他河川(見直したものを順次公表)					
②河川堤防の共同点検			継続して実施					
③雨量・水位情報等 リアルタイム情報の充実			継続して実施					
			○ ホームページ リニューアル		○ スマートフォン専用サイト			
2 市町村の業務の支援								
①避難のためのタイムライン の整備(相模川、酒匂川)	厚木市、小田原市							
	その他の沿川市町							
②水害対応チェックリストの 作成								
③県と市町村の連絡会議								

8